

	1年		2年		3年		4年		単位
	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	秋期	春期	
基礎科目	Japan-Expertファーストイヤーセミナー (1) 日本語 (15) 学問への誘い (1)	ファーストイヤーセミナー (1) 学士基盤科目、第2外国語 (1～4)							19 ～ 22
		体育 (柔道 1、弓道 1)							2
		英語 (4)							4
		情報リテラシー (講義) (1) 情報リテラシー (演習) (1) データサイエンス (2)							4
		他学類の開設科目 (専門科目および専門基礎科目に該当する科目は除く) (5～8)							5～8
		Japan-Expert共通科目 (他コースの共通科目より選択) (1)							1
専門基礎		人体機能学 (2)、人体構造学 (2)、医療生命科学与テクノロジー (1)、日本国憲法 (2)、Japan-Expert総論 (1)	人間関係論 (1)、心の健康と相談活動 (1)、行動科学 (1)、コミュニティ・エンパワメント論 (1)、人体の代謝と栄養 (1)、臨床薬理学 (1)、遺伝と健康 (1)、微生物学 (2)、保健統計学 (2)、疫学 (2)、障害理解 (1)、老化と健康 (1)、疾病の治療と看護Ⅰ・Ⅱ (4)、子どもの健康と障害 (1)	看護専門英語 (1)、保健医療福祉行政論Ⅰ・Ⅱ (2)、国際保健学 (1)				32	
		看護学類以外の開設科目 (選択 10) 知識情報概論 (1)、知識情報システム概説 (1)、社会福祉経営論 (2)、文化・開発論 (2)、国際学Ⅱ (1)、社会保障論Ⅰ (2)、情報社会と法制度 (2)、コンピュータシステムとネットワーク (2)、等			選択科目 (選択 1) 医療経済学 (1)、環境保健 (1)			11	
専門科目		基礎看護学概論 (1)、看護生命倫理 (1)、公衆衛生看護学概論 (2)、高齢者看護学概論 (1)、精神看護学概論 (1)、生涯発達と家族支援 (2)	基本看護技術 (3)、基本看護技術演習 (2)、フィジカルアセスメント (2)、看護過程 (2)、臨床看護学概論 (1)、子どもの発達支援学概論 (1)、ウィメンズヘルス看護学概論 (1)、高齢者看護方法論 (2)、職域における保健活動 (1)、家族病理とメンタルヘルス (1)、国際看護学 (1)、看護学探究概説 (2)、国際ヘルスケア概論 (1)	臨床看護方法論 (3)、子どもの発達支援方法論 (2)、ウィメンズヘルス看護学方法論 (2)、地域・在宅看護論 (1)、地域・在宅看護方法論 (2)、精神看護方法論 (2)、ヘルスプロモーションと看護 (1)、災害看護学 (1)、看護マネジメント (1)、研究方法概論 (2)、ヘルスケア実習Ⅰ (介護施設) (4)			国際ヘルスケア演習 (卒業研究) (4)、ヘルスケア実習Ⅱ (医療施設) (4)	57	
単位数	16	40程度	45程度	26		8	135		

ヘルスケア分野の政策・管理者および研究・教育者、さらには健康管理関連企業の開発技術者等で活躍

卒業

入学

初年次教育の日本語学習に加え、卒業時まで「CEGLOC日本語教育プログラム」の履修が可能
⇒就業力のある日本語能力の獲得のため4年間継続して学習

- ・日本語を徹底的に履修(4年間通した日本語学修【CEGLOCの日本語教育】が可能)
- ・Japan-Expert総論(共通専門基礎科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・各プログラムからの推奨科目を集めたJapan-Expert共通科目(基礎科目・関連科目)を設け、1年次春又は秋から履修
- ・国際ヘルスケア概論、国際ヘルスケア演習を新設